



バトゥール山

バトゥール山は、インドネシア、バリ島の北東部に位置する標高約1,700mの活火山です。そこに広がる壮大な風景、特にバトゥール山から臨む美しい日の出と雲海を目指して、多くの登山者や観光客が訪れます。登山の他、ジープで山を登るツアーも組まれています。バトゥール山では数百年前からの噴火による溶岩流により、植生もまばらで辺り一面が溶岩で黒くなった地帯を散策することもできます。



世界の地域から

バリ (インドネシア)・シェムリアップ (カンボジア)



バイヨン

バイヨンは、カンボジア北部、アンコールにある遺跡です。ジャヤヴァルマン7世によって作られたアンコール・トムという約3 km 四方の城郭都市の中央付近に位置します。12世紀末頃に建立されたと考えられ、1992年にはアンコールの他の遺跡とともにアンコール遺跡群としてユネスコ世界文化遺産に登録されました。バイヨンの塔には、216の巨大な顔が彫られており、ジャヤヴァルマン7世の他の彫像と類似していることから、多くの学者は顔が王自身を表しているという仮説を立てていますが、観音菩薩であると信じる人や、ヒンドゥー教の神ブラフマーのために建てられたものであると考えている人もおり、未だ議論がなされています。

